

高橋 悠治

ソングブック

Yuji Takahashi

Songbook

[vo] 波多野 睦美

Mutsumi Hatano

[pf] 廻 由美子

Yumiko Meguri

〈プログラム〉

だるまさん千字文

ゆめのよる

鳥は空を求めている

民衆にうったえる

おやすみなさい

「ぼくは12歳」より他

「めをとうし」(モノオペラ)

2016年

4月3日(日) 16:00開演(15:30開場) 全席自由: ¥4000

東京オペラシティ リサイタルホール

3rd. April 2016 (Sun), Open 15:30 Start 16:00 Tokyo Opera City Recital Hall Free seating: 4000yen

お申し込み お問い合わせ

アレグロミュージック: 03-5216-7131 (平日 10:00-18:00)

<http://www.allegromusic.co.jp>

東京オペラシティチケットセンター: 03-5353-9999

東京文化会館チケットサービス: 03-5685-0650

マネージメント ■ アレグロミュージック

高橋悠治・・・しなやかで強靱なその存在は、
どれだけこの音楽世界を豊かに、自由に、カラフルにしていることだろう。



波多野 睦美 Mutsumi Hatano (はたの むつみ / メゾソプラノ)

宮崎大学卒業後、英国ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。90年にシェイクスピア時代のイギリスのリュートソングでデビュー。多くのコンサート、音楽祭に出演。ヘンデル「メサイア」や、バッハ「マタイ受難曲」などのソリストとしてバロックオーケストラと数多く共演するほか、現代音楽の分野では間宮芳生作品のアメリカでの世界初演、水戸芸術館での「高橋悠治の肖像」、サントリーホールでの「作曲家の個展 2013 権代敦彦」等に出演している。放送ではNHK ニューイヤーオペラコンサート、名曲アルバム、日本の叙情歌、題名のない音楽会等に出演。オペラではモンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」のオッターヴィア、パーセル「ダイドーとエネアス」のダイドーなど、深い表現力と存在感で注目される。CD作品では「パーセル歌曲集／ソリチュード」など古楽器との共演による多数の録音のほか、高橋悠治との共演で「ゆめのよる」「猫の歌」を発表。バリトンサクソ（栃尾克樹）を加えたトリオによる「風ぐるま」ではバロックと現代の両方を演奏する独自の世界を展開している。最新作は古楽器との共演による「イタリア歌曲集」。

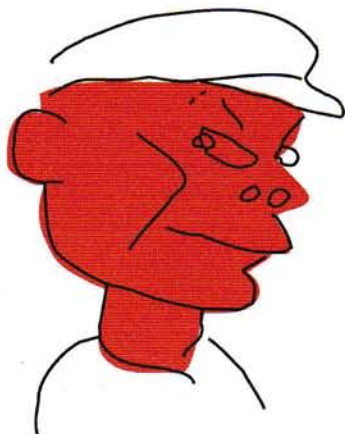
廻 由美子 Yumiko Meguri (めぐり ゆみこ / ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業の後渡米。インディアナ大学音楽学部でジョルジュ・シェベックに学び、最高位を得て卒業。これまでに、バロックから現代に至る10数枚に及ぶCDを国内外でリリースし、数多くが「レコード芸術誌・特選盤」等選ばれ、2014年にシュテファン・フッソング (Acc) と組んでドイツ WERGO と日本キングインターナショナルよりリリースされた「F-Fragments」(原田敬子作品集)のCDはドイツ各新聞及び日本のメディアで高い評価を得、2014年度「レ

コード芸術アカデミー賞」にノミネートされる。

ソロやオーケストラとの共演はもとより、他ジャンルとのセッション、また海外の作曲家や演奏家とのセッションも盛んであり、ドイツ、イタリア、カナダなどの現代音楽祭に招かれている。2007年より年2回開催している「テッセラ音楽祭・新しい耳」は個性派音楽祭として注目を浴び、ドイツの音楽雑誌にも取り上げられる。2016年、再度ドイツ WERGO より CD リリースが予定されている。

現在、桐朋学園大学音楽学部教授。www.yumikomeguri.com



高橋 悠治 Yuji Takahashi (たかはし ゆうじ / 作曲)

1960年草月アートセンター 1974-76年季刊誌「トランソニック」1978-85年「水牛楽団」
「月刊・水牛通信」以来は作曲・演奏・即興で少数の協力者と活動を続ける。

<http://www.suigyuu.com/yuji/> 著書:「高橋悠治／コレクション 1970年代」(平凡社)「音の静寂静寂の音」(平凡社)「きっかけの音楽」「カフカノート」(みすず書房)